

秋田魁新報 2022年10月16日付 秋田市

生徒開発の商品いかが

秋田市 秋田商高生が接客



生徒が笑顔で接客したAKI SHOP

秋田市の秋田商業高校の生徒が県内企業と開発した商品販売する「AKI SHOP（アキショップ）」が15日、JR秋田駅前や秋田市民市場などで開かれた。

2、3年生約430人が参加。ビリンパやマカロンなどの食料品、環境に配慮したパルプ製のクリアファイルなど45点を販売した。クリアファイルは粟田支援学校の生徒と共同でデザインした。生徒は商品の説明を書いたチラシを手持ちしながら「お一ついかがですか」などと声をかけ接客していた。

商品の開発や販売、広報、

会場で行うイベント企画などの準備を生徒主体で進めてきた。ローストポーク丼の開発に関わった3年の熊谷豪大さん(18)は「自分たちが開発に関わった商品がお客さんの手に渡るところまで見られてうれしかった。来年の4月から接客業に就くのでアキショップでの経験を生かして頑張りたい」と話した。

(大谷好恵)

©秋田魁新報社